

○防煙ダンパー（SD）

④防煙ダンパーと呼ばれ、火災により煙が発生した場合その煙がダクトを通じて他の場所に拡散する為、天井に設置された煙感知器と連動してダンパーの羽根を閉じるもの。

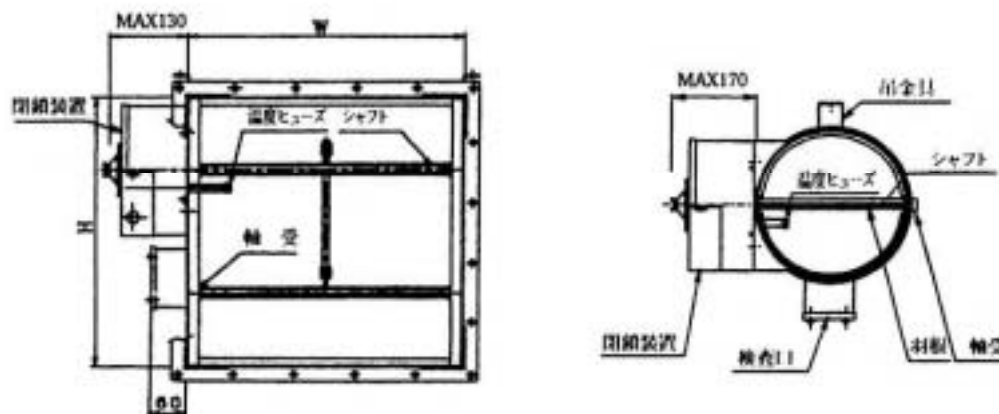
その復帰方式(作動後の羽根を開状態に復帰すること)に手動復帰方式と自動復帰方式がある。

⑤ケーシング及び可動羽根の板厚並びにダンパー軸受の材質などは、防火ダンパーによる。

○防煙防火ダンパー（SFD）

防煙ダンパーに温度ヒューズを設けたものとする。

ダンパーの外面に、(財)日本建築センターの性能評定マークが貼付されたものとする。



○ピストンダンパー（PFD）

④ピストンダンパーと呼ばれ、火災が発生した場合、スプリンクラー設置により消化しては不都合な場所（例えば、ボイラー室・電気室・駐車場・書庫等）は消化ガス（例えば、二酸化炭素ガス）を放出し消化する。このような防護区画にPDを付けてガスの圧力で羽根を作動（閉める）させて、ダクトよりのガスの流出を防ぐもので、F記号の付いたものは防火ダンパーを兼用したものである。

防煙ダンパーと同様に、復帰方式には手動と遠方復帰式があるが、消化ガスが充滿している場所に行かなければ復帰が出来ない場合、遠方復帰式となる。

⑤ケーシング及び可動羽根の板厚並びにダンパー軸及び軸受の材質及び性能評定マークなどは、防火ダンパーによる。

